

苫小牧市長杯高校新人バドミントン大会運営全般の感染防止対策

1 参加する方々へご協力いただきたいこと

①無観客試合を行う。

- ア 出場する選手・監督・コーチ・マネージャー以外の方々の来場を控えてもらう。
- イ 保護者、兄弟姉妹、OB や OG などの来場は控えてもらう。
- ウ 報道、写真等については、別途対応を協議する。
- エ 敗者校・選手については、敗者審判終了後、速やかに退館してもらう。

②次にあげる感染予防対策の理解と実践を協力してもらう。

- ア 大会2週間前から出場の可能性がある全部員に対して、検温ならびに症状の有無を確認してもらい、「健康観察シート（団体）」（別紙）を大会当日に本部に提出してもらう。
 - イ 過去2週間以内に発熱や感冒症状で受診や服薬等をした生徒は参加させない。
 - ウ 感染拡大している地域や国への訪問歴が14日以内の生徒は参加させない。
 - エ 消毒用アルコールを体育館入り口・アリーナ入り口に設置する。
 - オ 競技場の入り口扉、外扉を常時開放し、常に換気を行う。また、定期的に、参加者等が触れる場所をアルコールや次亜塩素酸ナトリウムを含有したもので拭き取りを行う。
 - カ 試合前後の手洗い・うがい・消毒等を必ず行ってもらう。（手洗い・うがいの励行）
 - キ 競技時以外の時間帯は、マスクの着用をお願いする。（咳エチケット）
 - ク 大会が始まってから発熱等が認められた場合は、その選手を一旦隔離し、保護者に連絡した後、直ちに帰宅してもらう。
- ④各試合前の開始時および終了時の選手同士および選手と主審との握手は、控えてもらう。
また、チームやペアの士気を上げるための円陣や選手同士の「ハイタッチ」も自粛してもらう。
- ⑤会場内での応援を禁止する。
- ⑥主審、線審などの椅子およびコーチングシートについては、設置しない。
- ⑦各校の待機場所については、各校指定するが、着席の際は隣との間隔に注意すること。指定された以外の席につくことは控えてもらう。

2 感染が発生した場合の参加者への確実な連絡と行政機関による調査への協力

- ①参加した者の中に感染者が出た場合は、その他の生徒に対して連絡を取り、症状の確認、場合によっては保健所などの公的機関に連絡をとれる体制を確保する。
- ②参加した個人は、保健所などの聞き取りに協力する。また、濃厚接触者となった場合は、接触してから2週間を目安に自宅待機の要請が行われる可能性がある。

※今後の感染症の推移及び関係機関からの通知によって、必要に応じて留意事項等の追加がある。